



子どもの作業療法とは？



どんなことを伝えたいのか、どんなことに困っているのか、私たち作業療法士は子どものからだの動かし方、感覚の受け取り方、言葉の理解の仕方、人と物との関わり方を観察して得意なことを引き出しながら、一人ひとりに合わせた支援を行います。

引用：一般社団法人 日本作業療法士協会
「〇〇とつなぐ-子どもの育ちを支える作業療法士-」パンフレット

おおぞら児童園での作業療法

おおぞら児童園の作業療法では、主に以下の活動を行っています。

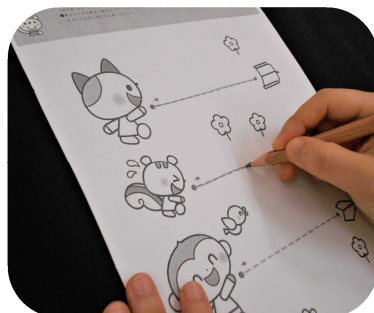
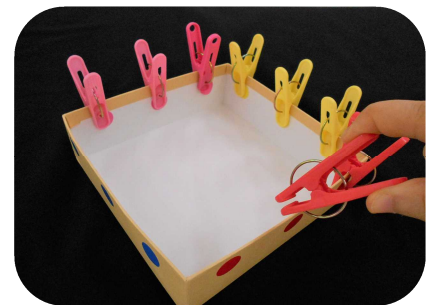


運動あそび

トランポリンやスイングなど、大型遊具であそぶ中でバランス力や身体の動かし方など運動機能を高める事を促します。

手先を使ったあそび

紐通しや洗濯ばさみあそびなど手先を使ってあそぶ中で、スプーンや箸、鉛筆など道具操作に必要な手先の操作性を高める事を促します。



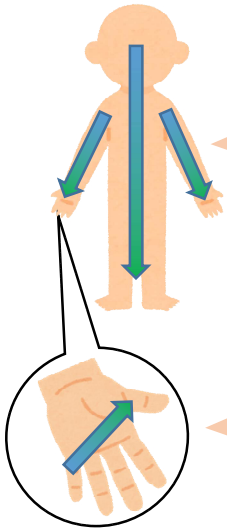
道具操作の練習

補助箸や三角鉛筆、ボタンあそびなど実際に道具を使って、食事動作や書字動作、更衣動作など日常生活動作の上達を促します。

手の運動の発達について

身体の運動発達

身体の運動発達は①頭→足、②内側→外側の2つの方向に進みます。



①頭→足

首がすわるようになると、お座り、四つ這い姿勢、つかまり立ち、立つ姿勢の順に発達していきます。

②内側→外側

体幹が安定すると、肩、肘、手首、手指の順に細かく動かすことができるようになります。下半身も同様に、股関節から足先の順で発達します。また、指の発達は小指から始まり、親指側に向かって細かく動かすことができるようになります。

握りの運動発達

指全体で握ることから始まり、親指、人差し指、中指の3本指で握ったり、小さいものをつまめるようになってきます。

①小指側で握る



②親指側で握る



③指でつまむ



つまみの運動発達

親指と人差し指の横を使ったつまみ方ができるようになり、その後、親指と人差し指のお腹を使ったつまみ方、親指と人差し指の先を使ったつまみ方ができるようになり、どんどん上手につまめるようになります。

①指の側面をつまむ



②指の腹をつまむ



③指の先をつまむ



握る力とつまむ力の運動発達

手首や指先を自由に動かせても、握る力、つまむ力が弱いと上手に操作することができません。

握る力、つまむ力を伸ばすためには、手の運動の土台となる、姿勢を保つ力や腕を支える肩周りの力を伸ばすことが大切です。

